各単Ｐアンケート調査結果から参考となる事例

|  |  |
| --- | --- |
| 役員だけに負担がかからぬよう次年度はプール委員会を立ち上げたい | 春竹 |
| 昨年度なし　今年できないと今後無理、と必死に会長と努力　→成功ほっと！ | 池上 |

　①組織・運営面に関して

　②心肺蘇生法講習会・危機管理研修会に関して

|  |  |
| --- | --- |
| 実際のプールで運営リーダー研修　　危機管理研を３部構成心肺蘇生講習も毎年受講 | 碩台 |
| 次年度大量受講者が見込まれる　→3回程度実施したい | 春日 |
| 研修会時に託児スペース設置　心肺講習は昼夜２回実施 | 画図 |
| 危機研導入で意識向上　欠席保護者０ | 健軍 |
| 危機研を担当保護者だけでなく、遊泳児全保護者に必須化→意識向上　カードチェックも真剣に | 清水 |
| 危機研時、体育館にブルーシートで仮想プール→一連の流れと救護活動の流れをシミュレートしたことが好評！ | 秋津 |
| 心肺講習５月総会に２回　　　危機研は授業参観後２回→２回の研修は意識を高めるのに効果大　　　モデル研に自校分加えパワーポイントで　　未受講者へは開放前（夏休み中）にさらに１回、内容は印刷して配付　　　２８年度開校の龍田西小でスムーズに活動できるよう計画・検討中心肺研は２学期以降、全保護者対象に授業参観後に実施予定　 | 龍田 |
| 自校に合ったシミュレーションを含む危機研は効果的運営リーダー向けの研修会も実施し不安軽減 | 尾ノ上 |
| 授業参観・懇談会時に２つの講習を実施→効率的だった | 西原 |
| 心肺と危機をセットに曜日時間を変え３回実施→有志による監視でもあり危機意識が高かった | 山ノ内 |
| 危機研で、運営方針・具体的方法を説明し保護者に理解が浸透　以後も実施すべき | 北部東 |
| 以前から心肺講習は全員　　危機研も加わりさらによし | 田底 |

　③専属監視員に関して

|  |  |
| --- | --- |
| 危機管理研時に同席・顔合わせとミーティング、責任者と質疑応答を実施 | 大江 |
| 昨年の反省から十分な（警備会社の）選考を実施　　満足のいく監視につながった校内危機研にも参加 | 砂取 |
| 仕事の段取りで迷われた　事前の打ち合わせが必要 | 田底 |

　④保護者監視員に関して

|  |  |
| --- | --- |
| 昨年度は全保護者対象で大変→今年は担当（スポーツ係）で実施スムーズになった | 砂取 |
| 担当と有志で構成　　　積極的な様子がうかがえた | 清水 |
| 全保護者での監視　監視員数で開放日増減　→文書やメールで依頼　→　予想以上１０日実施 | 池上 |
| ４月、絶対欠席できない！と強めのプール委員募集　９８％の講習会出席率 | 託麻原 |
| 危機研の時、担当日（コマ）毎に集まり、かかり決め打合せ　欠席者には電話で確認 | 龍田 |
| 有志で実施　意識が高い | 北部東 |

　⑤学校との連携に関して

|  |  |
| --- | --- |
| 講習会時の校長講話（挨拶）で他県の事故事例（静かに沈んで…）を聞きより真剣になった | 高平台 |

　⑥プール開放時に関して

|  |  |
| --- | --- |
| 水位を下げ全員が同じプールで遊泳（小プールを使わず） | 画図 |
| 仲の良い同学年と泳げるよう今年は学年割り　水深を考慮しコースロープで低学年枠を広げた | 秋津 |
| 児童数１２００人で割り振りに苦慮　利用希望日を第６希望まで取り調整　平均２～３回可能に | 龍田 |
| 小プール遊泳者が過多との課題　→最高遊泳者を３５人に割り振り調整　好評 | 若葉 |
| 親児の会の方々が入水　→　子どもと同じ目線とプールサイド上目線の両方から安全性が向上 | 楡木 |